

神戸三田プレミアム・アウトレット ラストコール

売り場

サーチライト



「高単価、きれいめ」の需要増

12月初旬、関西最大規模にパワーアップオープンした神戸三田プレミアム・アウトレット。増設部分に新規88店舗が出店し、合計177店舗を展開する。内13店舗はアウトレット国内初出店が占めた。

サンエー・インターナショナルのアウトレット業態「ラストコール」（東京、広瀬聖代

表も、アウトレット国内初とシルクシャギー素材が特徴の「ダイアン」ファウンテンの「ダイアン」ファウンテンパーク・ラストコール（写真）と「ヴィヴィアン」タム・ラストコールの「アンタム」は「東西融合」ブランド複合ショップ」として展開し、増設部分の南側玄関入口付近に位置する。

「ダイアン」ファウンテンパークは72年のデビュー以降、華やかなプリントデザイン、フォンファーゲットにしたラグジュアリー感のあるブランドで、「品の良さ」を売りにしているが、今が既存店の整理、見直し時期でもある」と分析する。今期（10年9月期）中をめぐり、地域特性に合わせたブランド構成や効率を見直し、来期に年間10店舗程度

「郊外型店舗では客数、客単価ともに減少傾向なのに対し、百貨店ブランドは客数減ではあるが、客単価は維持する傾向にある」ことに着目。特に「ダイアン」や「アドーア」などは既存店ベースで前年売上高をクリアするなど、「高単価できちんとめ」へのニーズは高いことから、同社では低価格トレンドに流されないブランド構成に注力する。

同社は現在43店を出店中だ。広瀬代表は「アウトレットの商況は好調な方だといわれているが、今が既存店の整理、見直し時期でもある」と分析する。今期（10年9月期）中をめぐり、地域特性に合わせたブランド構成や効率を見直し、来期に年間10店舗程度ス市場では力の整理に着手する意向。国内ジュアル化が進んでいるが、同社では先駆けとして実施した。